

平成30年度北海道木材需給実績について

1. 概要

- ・木材の総需要・供給量は787万m³で、前年度に比べて20万m³増加(対前年度比 102.6%)した。
- ・道産材自給率は、前年度より 1.0ポイント低下の 58.9%となった。

	総計	需要量			供給量		
		製材用	パルプ用	合板等用	道産材	輸入材	道産材自給率
29実績 (千m ³)	7,670	2,632	3,368	1,670	4,592	3,078	59.9%
30見込 (千m ³)	7,866	2,533	3,565	1,768	4,633	3,233	58.9%
30実績 (千m ³)	7,866	2,533	3,565	1,768	4,633	3,233	58.9%
30実績 ／29実績	102.6%	96.2%	105.8%	105.9%	100.9%	105.0%	1.0ポイント減

2. 需要量及び供給量の内訳

- ・需要量は、製材用が253万m³と前年度より10万m³減少、パルプ用は357万m³で20万m³増加、合板等用が177万m³で10万m³増加した。
- ・供給量は、道産材が463万m³と前年度より4万m³増加、輸入材が323万m³で16万m³増加した。

		30実績 (千m ³)	29実績 (千m ³)	30-29 (千m ³)	30/29	備考
需要量	製材用	2,533	2,632	▲99	96.2%	・集成材原板や梱包・仕組板等の針葉樹製材の需要減少
	パルプ用	3,565	3,368	197	105.8%	・道産針葉樹チップの需要増加 ・輸入チップの需要増加
	合板等用	1,768	1,670	98	105.9%	・輸入広葉樹合板の需要増加 ・燃料用の未利用材、道外への移出用原木の需要増加
供給量	道産材	4,633	4,592	41	100.9%	・パルプ用のエゾトド等の供給増加 ・燃料用の未利用材の供給増加
	輸入材	3,233	3,078	155	105.0%	・広葉樹合板、針葉樹チップの供給の増加

(北海道水産林務部林業木材課)